

— 美国川河川改修事業・美国（小泊）海岸環境事業・美国漁港整備事業 —

長年の懸案

「美国地区3つの公共事業」が 本格着手へ

◆早期完成を目指して、地域や町をあげてご支援とご協力を！◆

— 美国川河川改修事業 —

昭和37年の大災害や平成10年の豪雨増水の恐怖から、町民の生命・財産・生活を守る懸案の防災対策が北海道（小樽土木現業所）によって本格着手することになりました。平成21年度から建物等の移転補償のための個別詳細調査や用地・建物等の買収・補償、国道橋の仮橋及び架替工事などに順次着手することになります。

国・道の公共事業予算が厳しさを増す中で、30億円を超える事業費が見込まれ、1年でも早い完成が待たれます。

◀ 国道橋付近から上流を望む



— 美国（小泊）海岸環境整備事業 —

夏の観光シーズンに観光客で賑わう美国地区唯一の砂浜海岸の整備が進められてきましたが、平成21年度は駐車場やテントサイト・トイレ棟の底地となる砂浜の土地造成工事に着手し、陸地整備の全形がようやく見えてきます。

シーズン中の町道小泊線周辺の住居地域での車の迷惑駐車や騒音、ゴミなどの長年の悩みへの解消と、新たな観光拠点として地域の活性化に役立つことが期待されてきました。

平成5年から着手したこの事業は15年を経過し、これまで総額16億4千万円の事業費を投下し、国が1/3、北海道が2/3の費用を負担して実施しています。

— 美国漁港整備事業 —

近年の異常な高波が観音岬下から伸びる防波堤を超え、時化の際に漁船の安全係留が脅かされています。その越波対策が急がれながらも国の漁港整備計画に対策が盛り込まれず、その追加計画変更と全体計画事業費の増額の早期実現が待たれてきました。52億円を超える巨額の工事費を伴うこの計画変更が、長年の歳月を経てようやく昨年11月、国の大臣承認となり平成21年度着工実現へとつながりました。

また、ウニ種苗センターの背後から美国川を横断し、美国（小泊）海岸環境整備事業造成用地の背後を通り国道へ接続する新たな臨港道路となる橋梁の新設工事も同時に始まります。

◀ 新しい臨港道路と
橋梁施工箇所



▶ 越波防止対策を持つ
北護岸防波堤

